

建設システム工学科 3年次に進級する学生諸君へ

教育プログラムの選択に関する説明会について

建設システム工学科では、JABEE（日本技術者教育認定機構）による教育プログラムの認定を受け
るべく、下記の2つの教育プログラム

建設システム総合プログラム（Civil Engineering Integrated Program）

建設システム基礎プログラム（Civil Engineering Basic Program）

を開設しています。学生諸君は3年次に進級する時に、これらの教育プログラムのいずれかに所属す
ることになります。プログラムの選択は、学生の希望を調査の上、書類と面談により決定します。

「建設システム総合プログラム」はJABEEの認定をめざしたもので、建設システム工学の基礎から
応用まで全般にわたって学ぶ、本学科の標準的な教育プログラムです。このプログラムの修了生は、
今後このプログラムがJABEEの認定を得た場合、技術士一次試験が免除されて技術士補になることが
できます。このプログラムを修了して卒業するには、建設システム工学科の授業科目のうち総合プロ
グラム指定科目を修得することが必要となります。

「建設システム基礎プログラム」は、建設システム工学の基礎に重点をおくとともに、他の分野の
学科目も含め幅広く学ぶことが可能です。総合プログラム指定科目を履修しない場合や、他学部や他
学科における開講科目等を履修して卒業条件を満たす場合などは、このプログラムを選択すること
になります。

これらの教育プログラムの選択について、説明会を下記の日時に開催します。教育プログラムの内
容説明のあと、全員が提出する「教育プログラム選択希望調書」を配布しますので、4月から3年次
に進級する学生は全員必ず出席してください。

建設システム工学科 教育プログラム 選択説明会

日時： 平成 17 年 3 月 22 日 (火) 13:00～14:00(予定)

場所： 共通講義棟 2階 202 講義室

対象： 建設システム工学科 2 年生全員

★ 同封されている成績一覧表を持参すること。

平成17年度 建設システム工学科

教育プログラムの選択希望調査について

建設システム工学科では、JABEE（日本技術者教育認定機構）による教育プログラムの認定を受けるべく、下記の2つのプログラムを開設しています。3年次以上の学生は、これらのいずれかに所属することになります。

建設システム総合プログラム（Civil Engineering Integrated Program）

建設システム基礎プログラム（Civil Engineering Basic Program）

「建設システム総合プログラム」は JABEE の認定（平成17年度申請予定）をめざしたものであり、建設システム工学の基礎から応用まで全般にわたって学ぶ、本学科の標準的な教育プログラムです。このプログラムの修了生は、今後このプログラムが JABEE の認定を得た場合、技術士一次試験が免除されて修習技術者になるとともに、日本技術士会に登録することにより技術士補となることが可能になります。このプログラムを修了するには、教育課程一覧表に示す総合プログラム指定科目の所定の単位を修得することが必要です。

建設システム総合プログラムにおける学習・教育目標はつぎのとおりです。

● 徳の教育

- A 人類ならびに科学・技術の歴史的視点に立って、多様な価値観を身につけ、地域社会・国家社会・国際社会の中で信頼される人材を育成する。
- B 社会や自然との関わりの中で科学・技術をとらえ、人間としての道徳ならびに技術者としての責任感を育成する。
- C 組織の中にあってチームワークを重んじ、協調しつつも指導力を発揮することのできる人材を育成する。

● 知の教育

- D 工学や技術の道具としての数学や物理学などの自然科学の基礎、ならびに情報処理技術を習得し、専門の基礎科目において、応用できる能力を身につける。
- E 専門の主要分野を構成する構造工学、水工学、地盤工学、社会基盤計画学、建設材料学の基礎知識を身につける。
- F 環境や維持管理に配慮した社会基盤整備ならびに安全で快適なまちづくりに必要な応用知識を身につける。

● 技の教育

- G 実社会において、即戦力につながる専門の実務基礎能力を身につける。
- H 主要分野に関する実験・実習、演習を通して現象の理解を深め、論理的な思考力を身につける。
- I 新たな技術的な問題を設定することができ、習得している専門基礎知識ならびに応用知識を総合化し、解決する方法を模索できる能力を身につける。
- J 少人数教育を通して、論理的な記述・口頭発表・討議のできるコミュニケーション能力を身につける。

「建設システム基礎プログラム」は、建設システム工学の基礎に重点をおくとともに、他の分野の学科目も含め幅広く学ぶことが可能です。総合プログラム指定科目を履修しない場合や、他学部や他学科における開講科目等を履修して卒業条件を満たす場合などは、このプログラムを選択することになります。

建設システム基礎プログラムにおける学習・教育目標はつぎのとおりです。

- 徳の教育 多様な価値観を備え、人間としての道徳ならびに組織における協調性をもった人材を育成する。
- 知の教育 自然科学の基礎を習得するとともに、専門分野を中心とした幅広い領域の基礎知識を身につける。
- 技の教育 専門の実務基礎能力に加え、新たな課題に対する柔軟な思考力と基本的な解決能力を身につける。

平成15年度入学 建設システム工学科教育課程一覧表

部 門	系	授 業 科 目 名	単 位 数			総合 プログラム 指定科目	毎 週 授 業 時 間 数								摘 要	
			必修 科目	選択 必修 科目	選択 科目		1 年		2 年		3 年		4 年			
							前	後	前	後	前	後	前	後		
専 門	理 工 学	数学Ⅰ			2	④	2									
		数学Ⅱ			2	④		2								
		数学Ⅲ			2	④	2									
		数学Ⅳ			2	④		2								
		物理学Ⅰ			2	④	2									
		物理学Ⅱ			2	④		2								
		物理学実験Ⅰ			1	④	2									
		物理学実験Ⅱ			1			2								教職
		化学Ⅰ			2	④	2									
		化学Ⅱ			2			2								教職
	基 礎 科 目	化学実験Ⅰ			1		2									教職
		化学実験Ⅱ			1			2								教職
		地学Ⅰ			2				2							
		地学Ⅱ			2					2						教職
		地学実験Ⅰ			1				2							
		地学実験Ⅱ			1					2						教職
		応用数学Ⅰ			2	④			2							
		応用数学Ⅱ			2	④				2						
		確率統計学			2	④				2						
		数値計算法			2	④					2					
教 育	情報処理Ⅰ			1	④	2									他学部・他学科生履修不可 イブニング履修生の1～5時限 での履修不可	
	情報処理Ⅱ			1	④		2								他学部・他学科生履修不可 イブニング履修生の1～5時限 での履修不可	
部 門	構 造 シ ス テ ム 系	材料力学		2		⑤	2									
		構造力学Ⅰ		2		⑤		2								
		構造力学Ⅱ		2		⑤			2							
		構造解析学			2					2						
		構造システム学			2						2				1～5時限で開講	
		橋工学			2							2				
	水 工 シ ス テ ム 系	水理学Ⅰ		2		⑤		2								
		水理学Ⅱ		2		⑤			2							
		陸水システム学			2					2						
		海域システム学			2						2					
水質処理学				2							2					
地 盤 シ ス テ ム 系	地盤力学Ⅰ		2		⑤		2									
	地盤力学Ⅱ		2		⑤			2								
	地盤工学			2					2							
	建設地質学			2						2						
	地盤調査システム学			2							2			1～5時限で開講		
建 設 計 画 シ ス テ ム 系	社会基盤計画学Ⅰ		2		⑤			2								
	社会基盤計画学Ⅱ			2					2							
	都市・国土計画論		2		⑤						2					
	交通システム学			2						2						
	施工計画論			2								2		1～5時限で開講		
建 設 材 料 シ ス テ ム 系	建設材料学		2		⑤	2										
	複合材料工学Ⅰ		2		⑤		2									
	複合材料工学Ⅱ			2				2								
	建設施工法		2		⑤					2						
	建設材料リサイクル			2	⑤						2			1～5時限で開講		

平成15年度入学 建設システム工学科教育課程一覧表

部 門	系	授 業 科 目 名	単 位 数			総 合 プ ロ グ ラ ム 指 定 科 目	毎 週 授 業 時 間 数								摘 要			
			必修 科目	選択 必修 科目	選 択 科 目		1 年		2 年		3 年		4 年					
							前	後	前	後	前	後	前	後				
専 門 教 育 部 門	防 災 シ ス テ ム 系	防災システム学Ⅰ		2		⑤						2						
		防災システム学Ⅱ		2		⑤						2						
		砂防工学												2				
		耐震工学													2			
		防災計画論													2			
			建設システムセミナーⅠ		2		⑤	2										他学部・他学科生履修不可 イブニング履修生の1～5時限 での履修不可
			建設システムセミナーⅡ		2		⑤							2				他学部・他学科生履修不可 イブニング履修生の1～5時限 での履修不可
			測量学Ⅰ		2		⑤	2										A
			測量学Ⅱ			2	⑤		2									A
			測量学実習Ⅰ		2		⑤	2	2									A 他学部・他学科生履修不可 イブニング履修生の1～5時限 での履修不可
			測量学実習Ⅱ			2	⑤			2	2							A 他学部・他学科生履修不可 イブニング履修生の1～5時限 での履修不可
			構造設計Ⅰ			2									2			他学部・他学科生履修不可 イブニング履修生の1～5時限 での履修不可
			構造設計Ⅱ			2										2		他学部・他学科生履修不可 イブニング履修生の1～5時限 での履修不可
			建設工学実験Ⅰ			2	⑤						4					他学部・他学科生履修不可 イブニング履修生の1～5時限 での履修不可
			建設工学実験Ⅱ			2	⑤							4				他学部・他学科生履修不可 イブニング履修生の1～5時限 での履修不可
			建設デザイン学			2									2			1～5時限で開講
			製図技法		2		⑤	2	2									他学部・他学科生履修不可
			建設技術史			2	⑤						2					
			廃棄物処理工学			2								2				1～5時限で開講
			火薬学			2										2		B
		建設マネジメント			2	⑤									2		1～5時限で開講	
		建設システム総合演習			1	⑤									2		1～5時限で開講 他学部・他学科生履修不可 イブニング履修生の1～5時限 での履修不可	
		インターンシップ			1												△夏季・春期休暇中 1～5時限で開講 他学部・他学科生履修不可 イブニング履修生の1～5時限 での履修不可	
		卒業研究		4		⑤								2	6		他学部・他学科生履修不可 イブニング履修生の1～5時限 での履修不可	

総合プログラム指定科目

- ①印の科目は5単位以上修得すること
- ②印の科目は2単位以上修得すること
- ③印の科目は8単位以上修得すること
- ④印の科目は21単位以上修得すること
- ⑤印の科目は卒業研究を含めて49単位以上修得すること

取得済単位数

← 自分の成果を
確かめてみよう！

履修登録での留意事項

「理工学部教育課程」および「履修等に関する規定」を熟読のうえ履修登録をして下さい。

- ① A：測量士または測量士補の国家試験資格申請に必要な科目を示します。
- ② B：火薬類取扱保安責任者の資格を取得する際にその試験の一部が免除される科目を示します。

1. 進級の条件

2年次から3年次への進級については次の条件が必要です。

- 2年次終了までに60単位以上を修得していることが必要です。

2. 卒業研究の着手条件

次の条件を満たすことを原則とします。

- 当該年度に卒業見込みであること。

3. 卒業の要件

本学科の卒業に必要な単位数は次のとおりです。

建設システム基礎プログラムでは、以下の表(1)を満たすことが必要です。

建設システム総合プログラムでは、表(1)および表(2)の両方を満たすことが必要です。

表(1)

部 門	項 目	単 位
総 合 基 礎 部 門	選 択 必 修 科 目	6単位
	選 択 科 目	14単位以上
	計	20単位以上
専 門 教 育 部 門	選 択 必 修 科 目	※ 34単位
	選 択 科 目	70単位以上
	計	104単位以上
合 計		124単位以上

※ 専門教育部門の選択必修科目は16科目以上（卒業研究を含め各系・共通の選択必修科目より1科目以上）修得すること。

表(2)

総合プログラム指定科目	単 位
①印の科目	5単位以上
②印の科目	2単位以上
③印の科目	8単位以上
④印の科目	21単位以上
⑤印の科目	卒業研究を含めて49単位以上